

令和7年度 グリーンスローモビリティ実証実験

事業概要について

令和8年1月24日

さいたま市都市局 交通政策課

～目次～

1. グリスロについて
- 2 – 1. さいたま市を取り巻く移動の現状と課題
- 2 – 2. 高齢者の移動と生活の現状
3. 運行概要
- 4 – 1. 運行計画の策定経過（候補地選定、WSなど）
- 4 – 2. 地域サポーターとは
5. 実験結果について
6. 今後について

(1) グリーンスローモビリティの特徴

グリーンスローモビリティ（略してグリスロ）は**時速20km未満で公道を走ることができる**
電動車を活用した小さな移動サービスであり、その車両も含めた総称です

【今回の実証実験で使用するグリスロ（ヤマハ社製7人乗り）】

1 Green

電動車を活用した環境に優しいエコな移動サービス

2 Slow

景色を楽しむ、生活道路に向く、重大事故発生を抑制

3 その他

同じ定員の車両と比べて小型、開放感がある、乗降しやすい等

従来の公共交通
ネットワークを
補完

【従来の公共交通】

- ・はやく
- ・時間通りに
- ・遠くまで

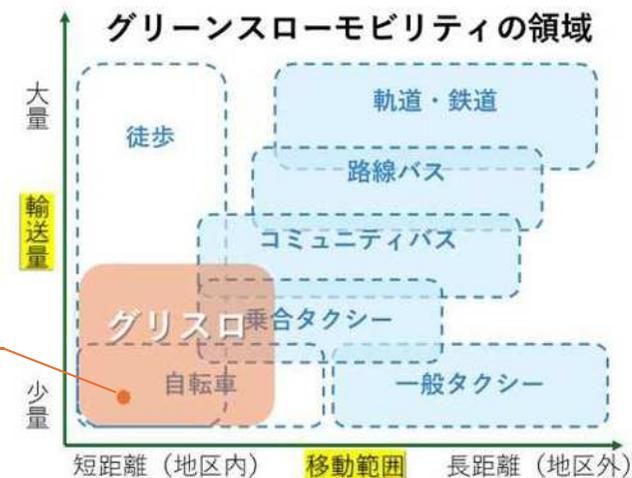


【グリーンスローモビリティ】

- ・ゆっくりと
- ・余裕をもって
- ・近くまで



資料：ヤマハ発動機ホームページ



(1) グリーンスローモビリティの特徴

乗り降り楽々

低床・オープン・ルーフが高い



コミュニケーション増加

オープンで低速 → 道ゆく人とも会話



狭い道も楽々

車幅が軽自動車未満 (約130cm)

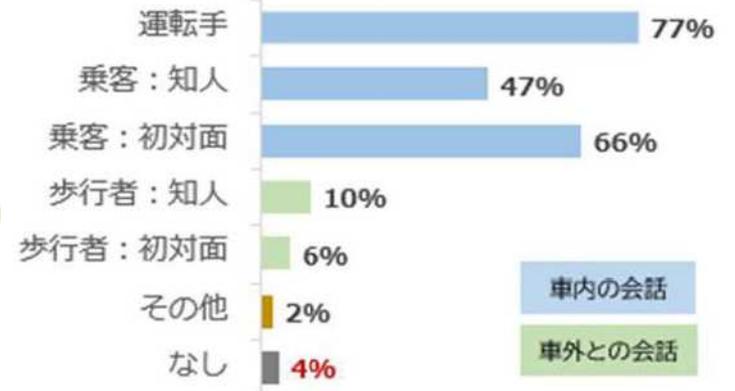


ゆっくり・開放的でリラックス

自然と笑顔・会話もはずむ



乗客の96%が
誰かと会話



※2022年千葉大学予防医学センターとの5か月実証実験
高齢者341人の回答結果

(1) グリーンスローモビリティの特徴

目指すビジョン（生活の足）

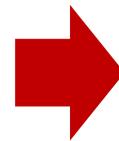


【グリーンスローモビリティの政策コンセプト】

- 1 従来の公共交通ネットワークを補完する「**低速の小さな移動サービス**」
- 2 運転手と乗客や乗客同士、乗客と歩行者などのコミュニケーションが弾む機能を持つ「**乗って楽しい移動サービス**」
- 3 福祉面でのお出かけ支援、地域の賑わい創出、観光客の満足度向上、高齢者の見守り、地域防災・防犯のための絆の強化等の多様な副次的効果を持つ「**コミュニケーション装置**」

低炭素型・脱炭素型の持続可能な交通、持続可能な地域社会の実現

グリーンスローモビリティの導入と活用のための手引きより抜粋



地域が支える「グリーンスローモビリティ」の活用可能性や持続性等を検証する

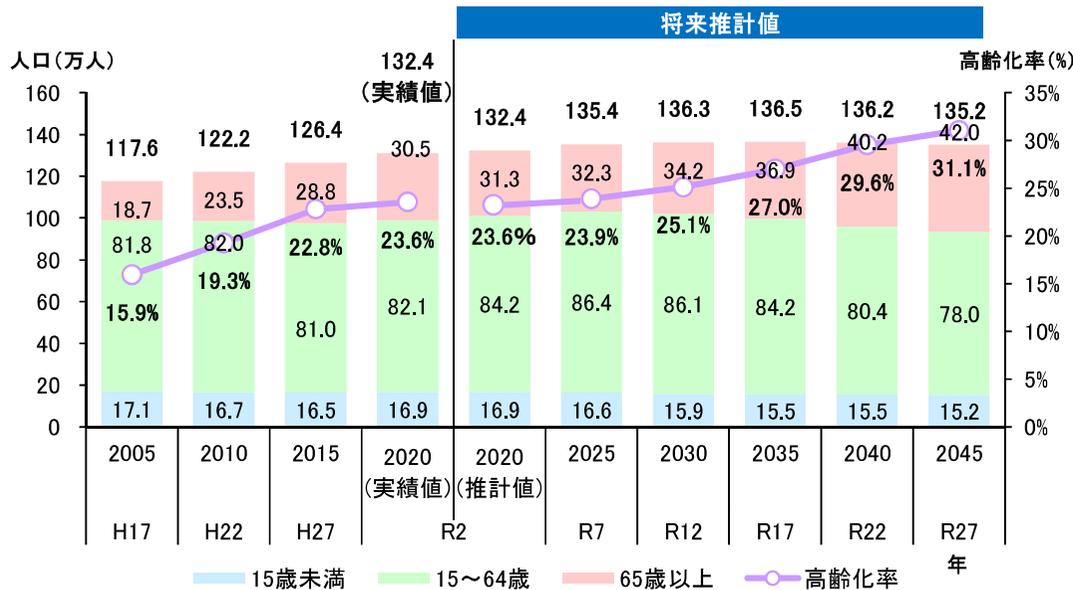
#1:国立研究開発法人科学技術振興機構の産学共創プラットフォームにおける千葉大学、日本福祉大学との共同研究 #2 約3年以内の高齢者の要支援・要介護リスクを評価したもの
#3:現在、論文発表に向けて準備中のため、詳細は別途公表させていただきます。

ヤマハ発動機ホームページより抜粋

(2) さいたま市を取り巻く移動の現状と課題

①人口の推移

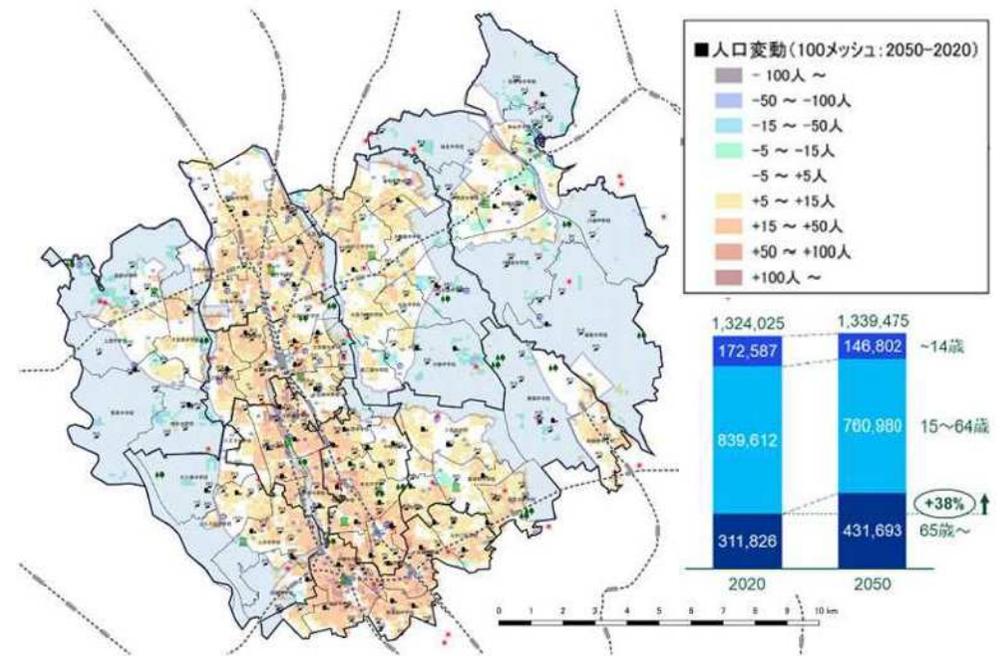
- 人口は依然として増加傾向、高齢化率は上昇傾向にあり、2045年に30%を超え、交通弱者の増加等を予想



資料：S55～R2年人口：国勢調査 R7以降推計人口：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

②2020-2050年の差分予測（65歳以上の高齢者）

- 2020年、高齢者が大きく減少しているエリアはなく、全体として増加傾向 ⇒ 基本的にどの地域でも高齢者が多い状況になり、鉄道駅1000m、バス停300mで生活の質を保てるかが課題

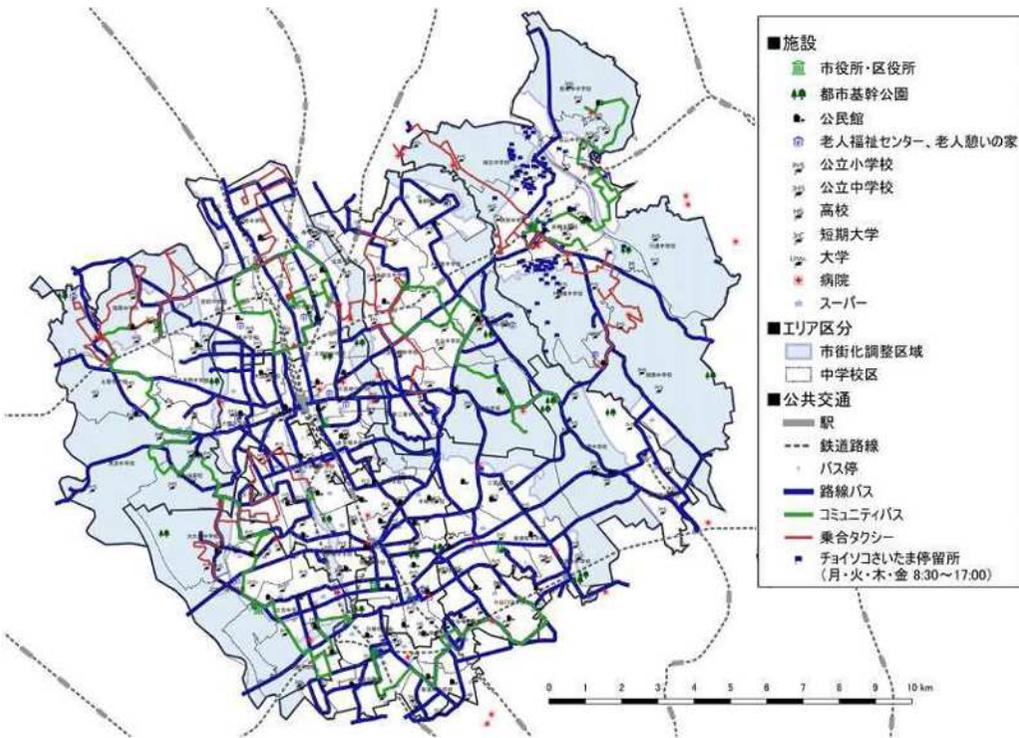


資料：R5年立地適正化計画検討業務 成果物より作成

(2) さいたま市を取り巻く移動の現状と課題

③さいたま市における公共交通ネットワークの状況

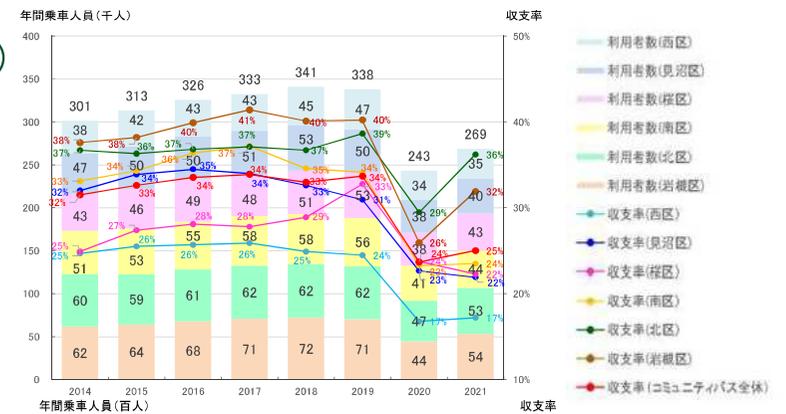
- 市内には南北方向の鉄道網、東西方向の鉄道網に加えて、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーが整備されている（実証運行含む）



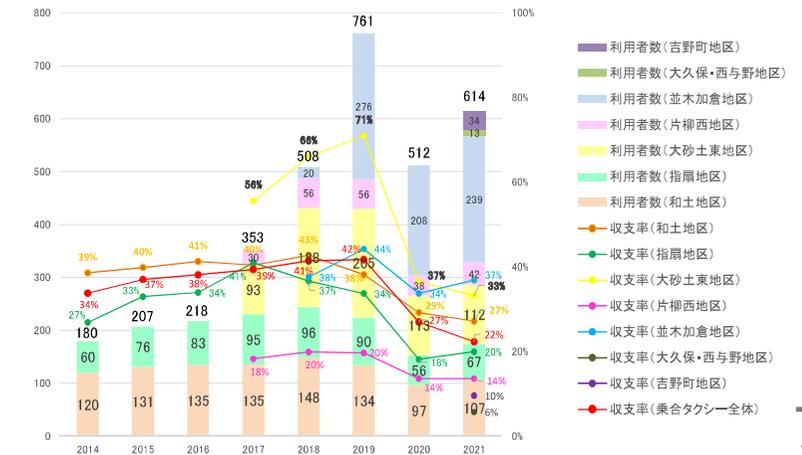
④さいたま市における公共交通ネットワークの状況

- コミュニティバス・乗合タクシーの多くは収支率の目標（収支率40%以上）を達成していない状況

(コミュニティバス)



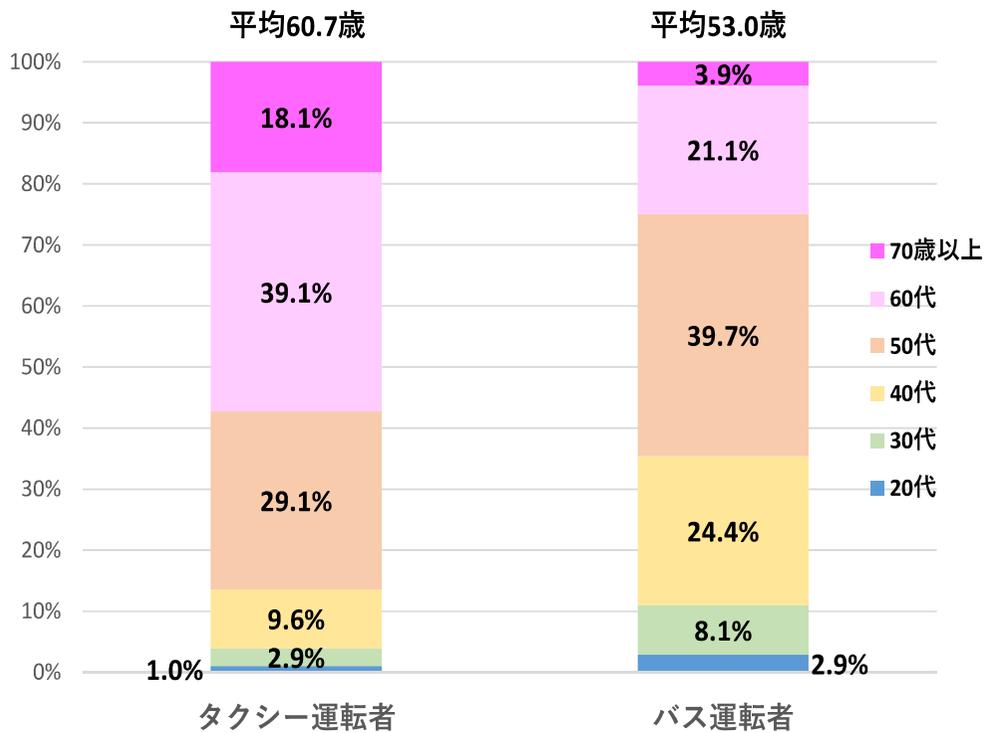
(乗合タクシー)



(2) さいたま市を取り巻く移動の現状と課題

⑤ タクシー・営業用バス運転者の年齢構成 (全国)

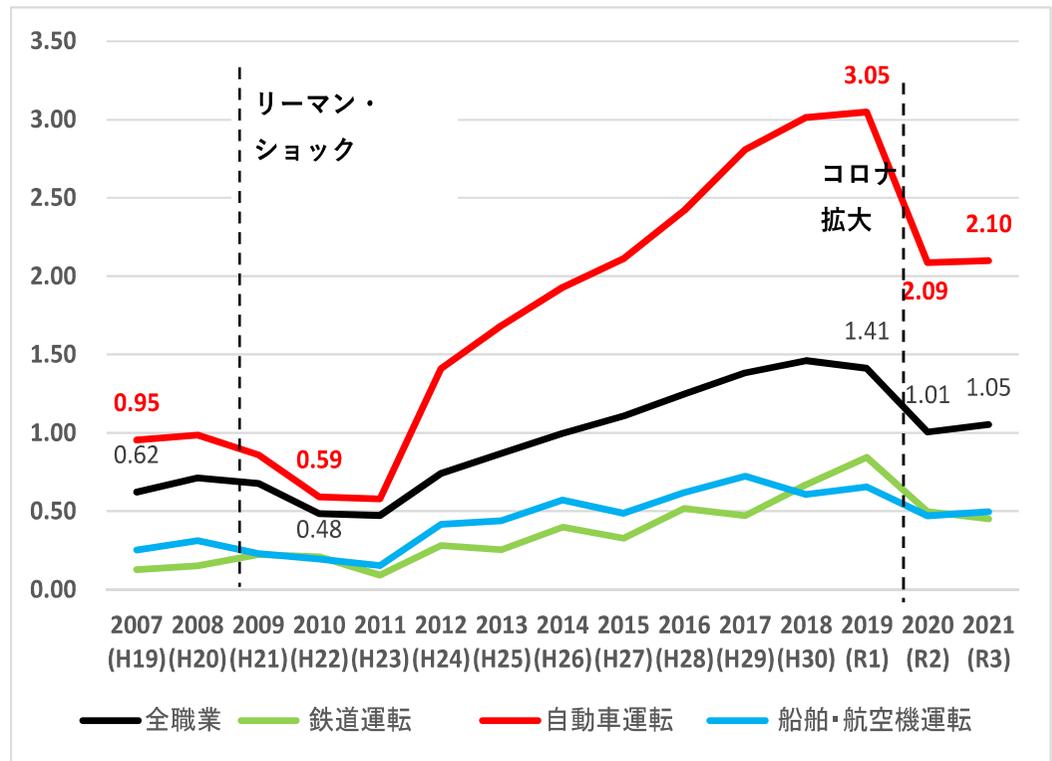
- タクシー運転者は60代以上が過半数、50代以上が8割以上
- バス運転者は60代以上が1/4、50代以上が6割以上



資料：賃金構造基本統計調査
(厚生労働省)

⑥ 職業別有効求人倍率の推移 (全国)

- 自動車運転の職業有効求人倍率は、他の産業、全職業平均と比較しても上昇率が高い

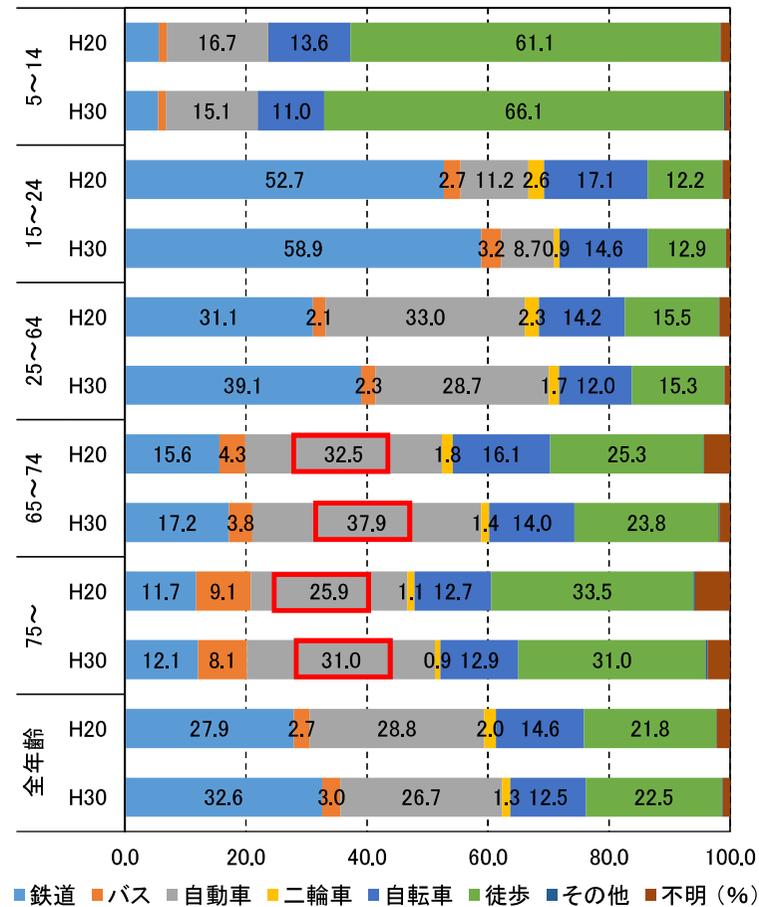


資料：職業安定業務統計

(2) さいたま市を取り巻く移動の現状と課題

⑦年齢別交通手段分担率の変化

- 15歳～64歳で鉄道とバス分担率が上昇、高齢者は自動車の分担率が上昇し、バスの分担率は低下傾向にある

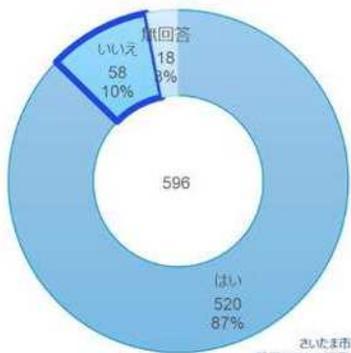


(2) 高齢者の移動と生活の現状

⑧ 日常生活での困りごとー70歳以上

- 生活に必要な物やサービスを必要な時に購入できると回答した方は87%
- 上記の設問で「いいえ」と回答した人の理由として最も多かった回答が、「移動手段の問題」であった

自分にとって生活に必要な物やサービス（例：衣服、食事、住宅、医療・介護サービス、自分が快適に暮らすために必要な物品など）を、必要な時に購入することができますか。



さいたま市 質問No.283
健康とくらしの調査(JAGES2022)

「いいえ」と回答した方におたずねします。その理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

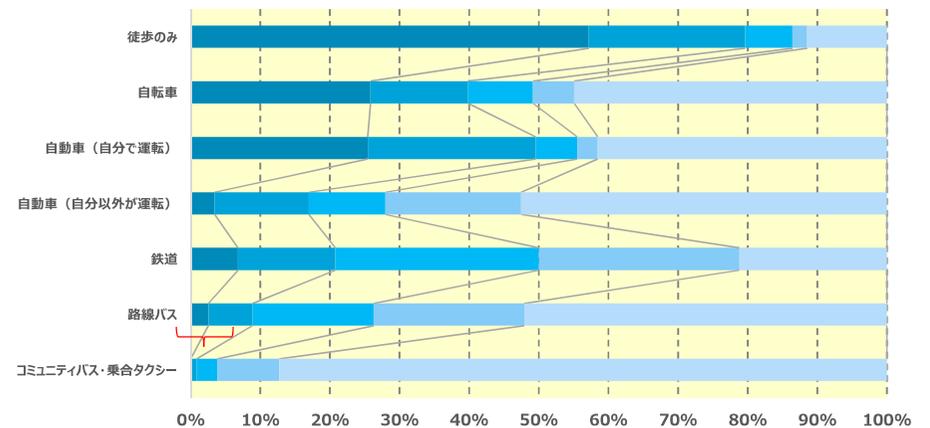


さいたま市 質問No.284
健康とくらしの調査(JAGES2022)

⑨ 移動手段別の利用頻度ー70歳以上

- 移動手段の利用頻度としては徒歩・自転車・自動車が多く、週1日以上路線バス利用者は約9%

■ 1週間に3日以上 ■ 1週間に1~2日 ■ 1ヶ月に1~2日 ■ 1年に数回 ■ (ほとんど) 利用しない

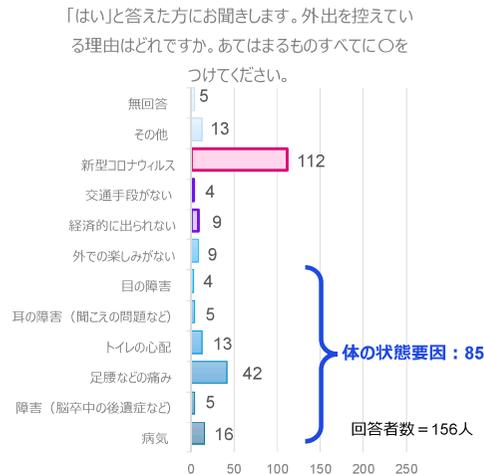
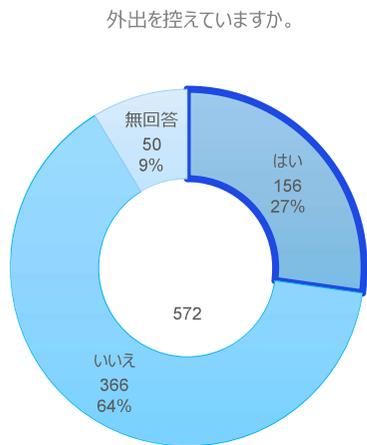


資料：インターネットアンケート調査
(2023)

(2) 高齢者の移動と生活の現状

⑩ 高齢者の外出控えー70歳以上

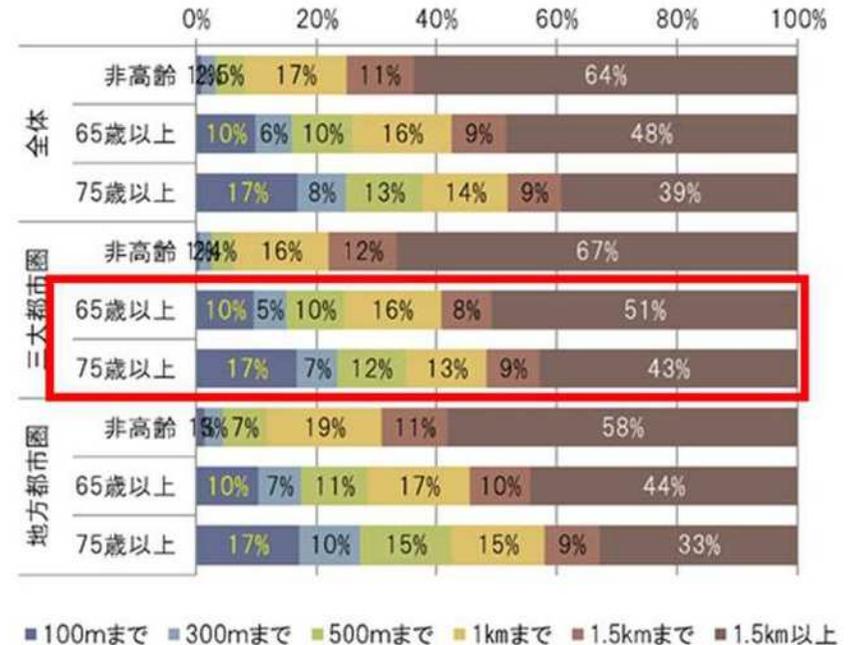
- 外出ガマンの理由として、「経済的に出られない」と回答した方の割合は少なく、健康状態を要因とする割合は比較的高い



資料：さいたま市 健康とくらしの調査 (JAGES2022)

⑪ 高齢者／非高齢者別にみた無理なく休まずに歩ける距離

- 65歳以上の高齢者の15%の方は、無理なく休まず歩ける距離が300m以内
- 75歳以上の方では、無理なく休まずに歩ける距離が300m以内という方が24%。



(2) さいたま市の現状と課題 (まとめ)

■ 前述スライドのまとめ

- 今後、さいたま市の高齢化率は高くなることが想定され、**移動手段の確保はますます重要**に
- さいたま市では、鉄道駅1km圏、バス停300m圏を目安に、公共交通サービスの確保に向け取り組んでいるが、**利用者数や収支率の課題 (財政負担)** もあります
- 一方で、バスやタクシー等の公共交通サービスを担う**ドライバーの確保は年々困難**に
- 増加する高齢者が日常生活を送る上で、**移動手段の問題解決の優先度は高い**と想定
- 歩行能力の低い方でも安心して利用できる**身近な移動手段となる交通モードの確保**が高齢者の方々が**健康的に日常生活を送れる「カギ」**になると想定

(3-1) 令和7年度 実証実験概要

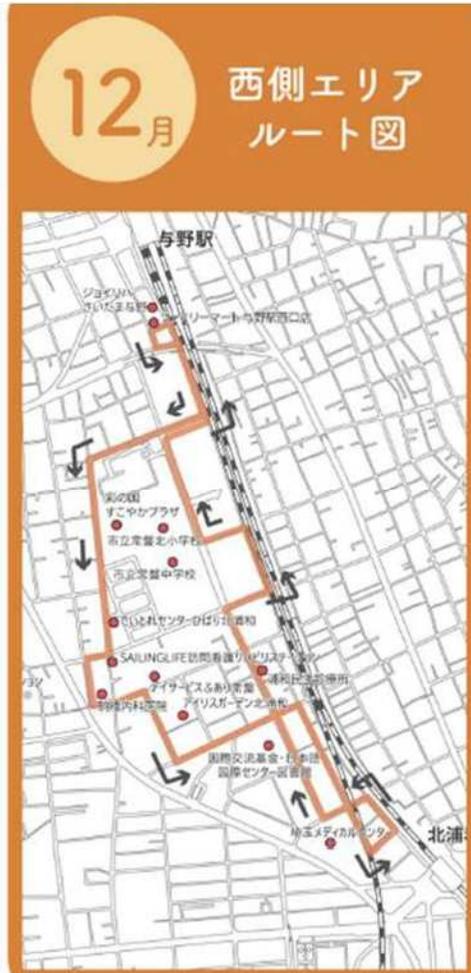
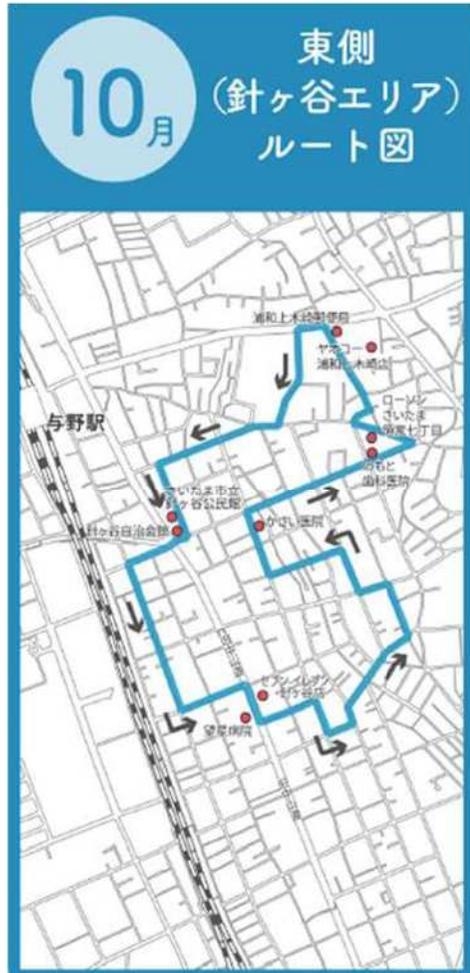
対象地域	さいたま市 浦和区 北浦和・針ヶ谷地区
運行時間	10時～15時（平日）約30分に1便（定時定路線：1日7～8便）
対象者	地域の方（利用者限定なし）
運賃	無料
予約	なし（座席定員制・5名まで）
運転手	委託（今回はボランティアドライバーではありません）
実証時期	3ヶ月（R7.10～R7.12）
	※①針ヶ谷（10/6～10/31）②北浦和地区（11/4～11/28）③西側地区（12/1～12/19）
車両・台数	ヤマハ発動機社製 7人乗りカート AR-07 1台
停留所	200m～300m間隔を目安に設置
ボランティア	地域サポーター1名（自治会員、民生委員、地域包括 など）



～実施目的～

- コミュニティバスや乗合タクシーの導入を行っているが、駅やバス停、生活に必要な施設等までアクセスするのが困難な高齢者等が今後増加していくことが見込まれることから、デマンド交通のほか、福祉有償運送やボランティア輸送等の様々な交通モードの導入等も視野に準備する必要がある
- 運転手不足の現状から、地域主体となって地域で支え合う（共助）「グリーンスローモビリティ」の実現可能性、持続性、効果等を確認・検証する

(3-1) 令和7年度 実証実験概要 3地区ルート図



～対象自治会数～

針ヶ谷エリア：5自治会

北浦和エリア：2自治会

西側エリア：6自治会

～対象エリアの人口～

※令和7年1月1日時点

単位(人)	人口総数	30～69歳	65歳以上	70歳以上
針ヶ谷 エリア	6,730	3,609 (53.6%)	1,291 (19.1%)	979 (14.5%)
北浦和 エリア	9,012	5,082 (56.4%)	1,817 (20.1%)	1,354 (20.1%)
西側 エリア	7,169	3,717 (51.8%)	2,015 (28.1%)	1,570 (21.9%)

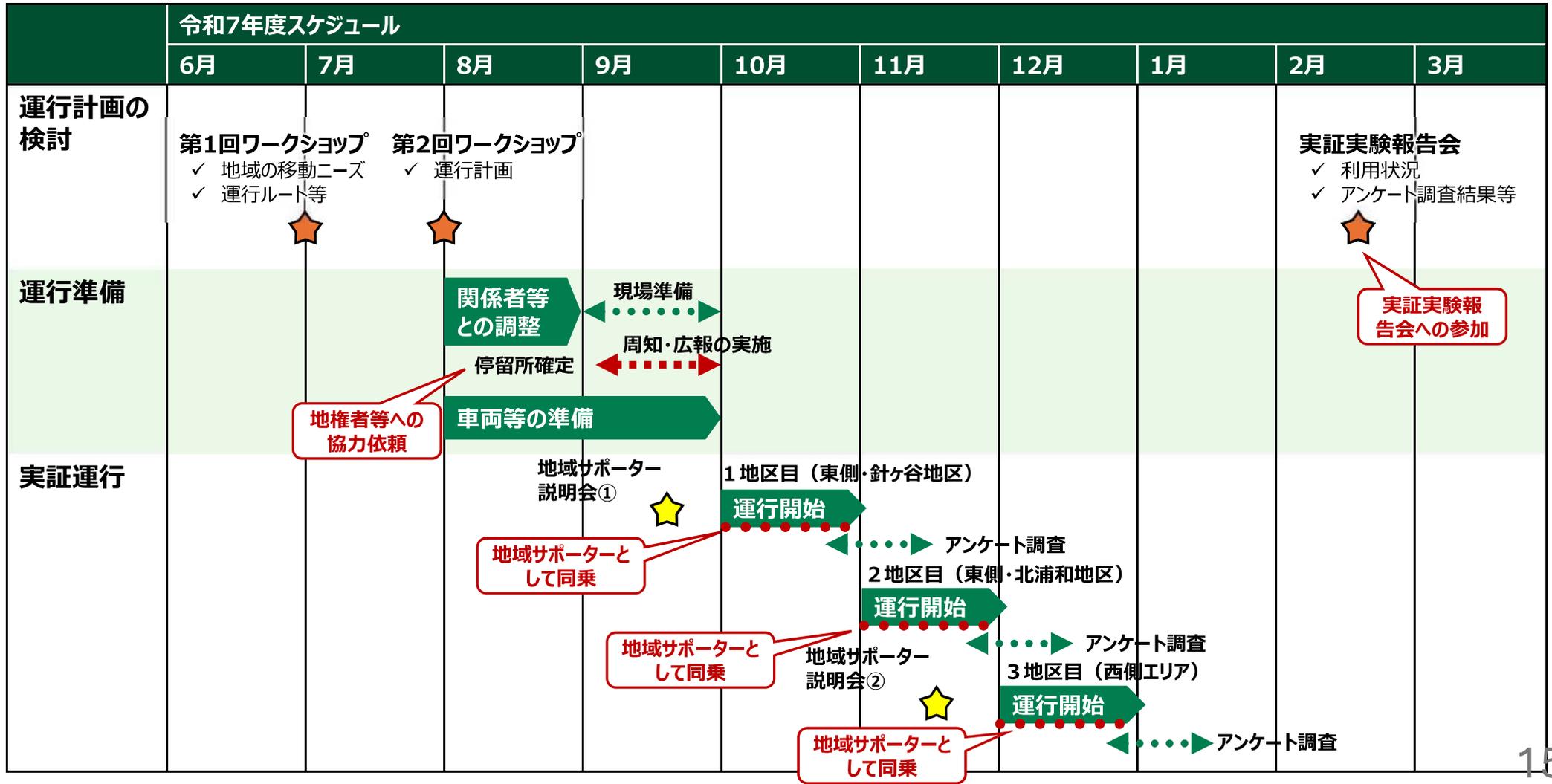
～ルート延長～

針ヶ谷エリア：約3.1km

北浦和エリア：約2.8km

西側エリア：約3.8km

(3-1) 令和7年度 実証実験概要 スケジュール



(3-2) 検証項目について

利用者目線での検証（アンケート形式）

- ・ 外出機会の創出、コミュニケーション機会の創出、利用者による評価

運営者目線での検証（アンケート形式）

- ・ 運転を地域が担う場合における課題の抽出および可能性検証
- ・ 地域サポーター（乗降サポート・おもてなし等）の役割と必要性の確認
- ・ 地域主体での継続的な実施に向けた運行規模および実施体制の検証

事業対象エリア選定方法

- ・ ボランティア参加状況と地元募集結果を踏まえた検証（公募方式、地域組織等）

公助での運行可能性（担い手確保）

- ・ タクシー運転手による運行実現性、コスト検証、次年度以降のコンセプト

(4-1) 運行計画の策定経過（候補地選定、WSなど）

《 候補地選定 》（過年度 R6）

① 中学校区あたりの高齢者人口

グリスコの移動可能規模を想定し、65歳以上の高齢者人口数（浦和区を選定）

② ボランティア参加意識

JAGES2022よりボランティア参加意思について圏域別に分析（浦和区北部を選定）

③ その他

- ・ 買い物需要を満たす商業施設の分布状況や人流データによる移動状況（目的地がある）
- ・ 公共交通へのアクセス距離、充足状況（駅まで近いが周辺に路線バスがない）
- ・ 高齢者人口密度（密度が高い）
- ・ 地域の社会福祉協議会、地域包括支援センターなどのご意見（可能性・地域課題）

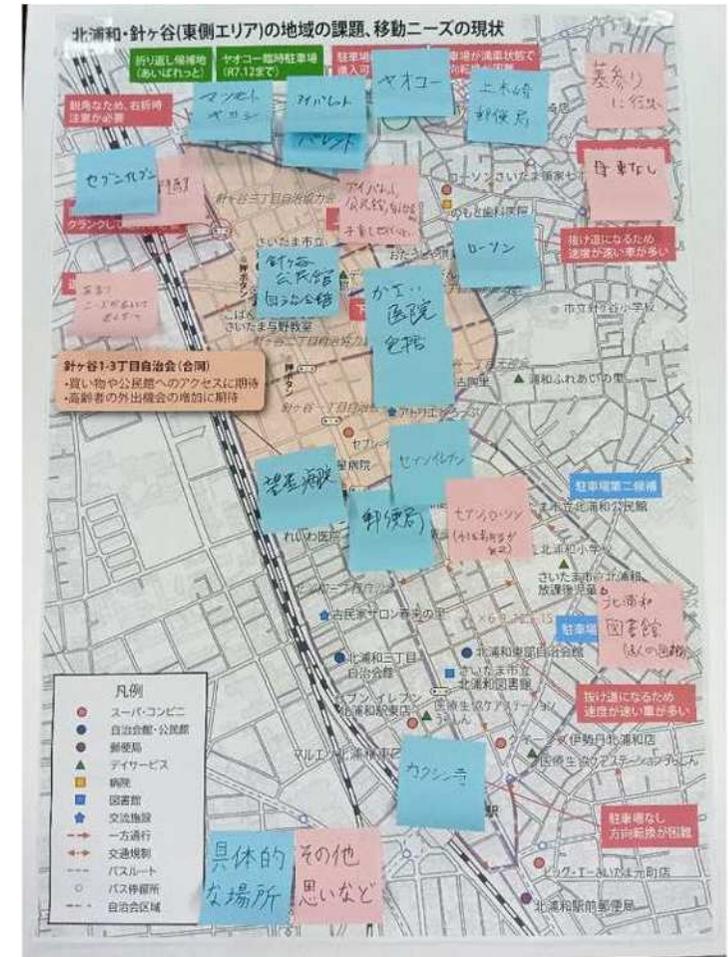
➡ 浦和区北浦和・針ヶ谷地区（地区内人口約2万人、自治会数：14
うち65歳以上約4千人、75歳以上約2千人）を対象とする

(4-1) 運行計画の策定経過 (候補地選定、WSなど)

《ワークショップ1回目》R7.7

①各地区における移動ニーズ

グリーンスローモビリティの運行計画を考える上で、目的地や立ち寄りポイントとして、身近な地域で、普段の生活で「よく行くところ」や、「行きたいけど行きにくいところ」について、グループで意見交換・議論をしました。



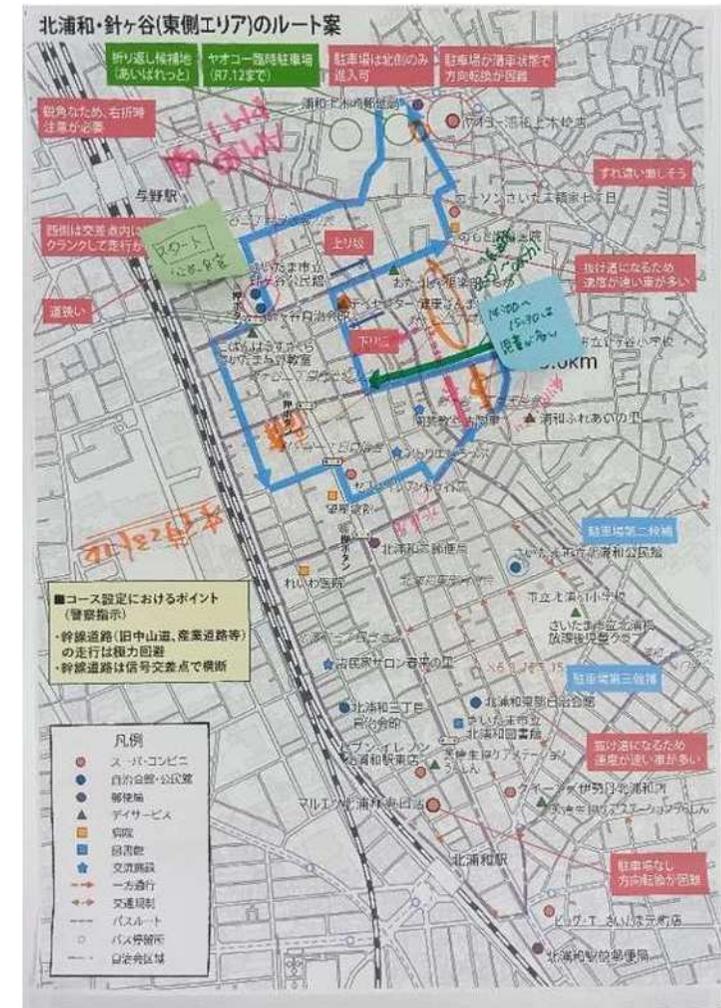
(4-1) 運行計画の策定経過 (候補地選定、WSなど)

《ワークショップ 1 回目》

② 運行するルートや運行時間帯など

今回のグリーンスローモビリティ実証実験において、「通ってほしいところ」や「通らない方がよいところ」などの運行ルートに係るご意見、「利用したい時間帯」や「目的地に行きたい時間帯」などの運行ダイヤについて、グループで意見交換・議論をしました。

区分	ルート案に対する意見・要望等
運行ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14 時～15 時半は児童が多い ・ 針ヶ谷小学校西側の通りは利用しない
乗降場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館 (スタート地点) ・ 道路上ではなく待合スペースがあるところが望ましい
時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午前中 (病院) ・ 午前中 (スーパー・コンビニ) ・ 10 時以降 (針ヶ谷公民館・針ヶ谷自治会館) ・ 公民館での催しは、10 時、13 時が多い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ おたっしや倶楽部の東側のあたりは高齢者が多い



(4-1) 運行計画の策定経過（候補地選定、WSなど）

《ワークショップ2回目》 R7.8

① 運行計画【意見交換と決定】

前回ワークショップで議論いただいた意見を踏まえ、①運行するルート、②乗降場所・停留所、③時刻表・ダイヤについて、見直すべき点（有り・無しも含め）について意見交換を行い、今回の実証実験での運行計画を決定しました。

区分	ルート案に対する意見・要望等
運行ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・ ⑩から⑪に行くところが鋭角すぎると思う (→ローソンでの乗降と比較し、やむなしとの意見となった) ・ ヤオコーにもっと近いところを検討してほしい (→乗降場所として老人ホーム前を検討することとなった)
乗降場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 双恵幼稚園は、敷地内にコーンを置いて停留所にしてほしい ・ ヤオコー向かいの老人ホーム前を停留所にしてほしい
時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行ダイヤで便が多いのはありがたいが、少しタイト
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停留所は立体で遠くから見えるようにしてほしい



（4-1）運行計画の策定経過（候補地選定、WSなど）

《 関係機関協議（運行） 》

①警察（交通管理者協議）

安全走行に関する確認（ルート、幅員、停留所の位置、幹線道路の横断 など）

②交通事業者（タクシー・バス）

無料運行や低速走行のため、運行計画に策定に向けた調整（ルート、停留所 など）

③地域公共交通協議会

既存の公共交通を維持確保するうえで、共存できる形を確認

《 施設設置関係（停留所） 》

①地域による停留所候補地の地権者への交渉【地元自治会】

②商業施設、医療機関など目的地側への交渉

➡上記を踏まえ、最終的な停留所の位置が決まり、運行計画が確定しました。

(4-1) 運行計画の策定経過 (候補地選定、WSなど)

令和7年度 グリーンスローモビリティ実証実験
 ー 東側 (針ヶ谷エリア) 詳細版 ー



乗車定員 **5名**

運賃無料

グリーンスローモビリティ
 でお出かけしませんか

北浦和・針ヶ谷周辺エリアにおいて、鉄道駅は比較的近いものの、バス停は遠い地域があるため、高齢化により移動困難者が増加していくと想定されています。一方、移動の担い手となる運転手は全国的に不足している状況であり、今後地域の変えあいが必要となります。そこで、みなさんがお出かけしやすい環境づくりに向けた移動支援サービスの実現可能性の検証を行います。買物や通院など、お出かけの際にぜひご利用ください。

グリーンスローモビリティ (グリスロ) とは
 時速20km未満で公道を走行できる電動車を活用した移動サービスです。

運行期間 ※土日祝は運休となります
 東側 (針ヶ谷エリア)
10月6日 (月) ~ 31日 (金)
東側 (北浦和エリア)・西側エリアは11月以降実施予定

グリスロの利用方法
 事前予約は不要です。停留所前でお待ちください。

ご利用される皆様へ

- ・運賃は無料です。
- ・乗車定員は5名です。満員時は乗車できない場合がございますので、譲り合いのご利用をお願いいたします。
- ・雨天時は運休する場合がございます。
- ・利用環境や車内スペースによる制約がございます。(車椅子利用不可、車体の後部カゴに収まらない大きな荷物のお持ち込みもご遠慮ください)

さいたま市都市局 交通政策部 交通政策課
 048-829-1056 (受付時間 平日 9:00 ~ 17:00)

グリーンスローモビリティ実証実験のHPはこちら

令和7年度 グリーンスローモビリティ実証実験
 運行期間: **10月6日 (月) ~ 31日 (金)** ※土日祝は運休

東側 (針ヶ谷エリア) 運行ダイヤ

停留所	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便
①針ヶ谷公民館	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:30	14:00	14:30
②大原陸橋南	10:01	10:31	11:01	11:31	12:01	13:31	14:01	14:31
③環谷ダンディ	10:02	10:32	11:02	11:32	12:02	13:32	14:02	14:32
④針ヶ谷保育園	10:03	10:33	11:03	11:33	12:03	13:33	14:03	14:33
⑤針ヶ谷1丁目公園向かい	10:03	10:33	11:03	11:33	12:03	13:33	14:03	14:33
⑥セブンイレブン針ヶ谷店	10:04	10:34	11:04	11:34	12:04	13:34	14:04	14:34
⑦ヒルトップ針ヶ谷	10:05	10:35	11:05	11:35	12:05	13:35	14:05	14:35
⑧さいたま市水道局	10:06	10:36	11:06	11:36	12:06	13:36	14:06	14:36
⑨双葉幼稚園	10:07	10:37	11:07	11:37	12:07	13:37	14:07	14:37
⑩針ヶ谷1丁目住宅街	10:08	10:38	11:08	11:38	12:08	13:38	14:08	14:38
⑪ベルメゾン浦和針ヶ谷向かい	10:08	10:38	11:08	11:38	12:08	13:38	14:08	14:38
⑫オークハウス第2	10:09	10:39	11:09	11:39	12:09	13:39	14:09	14:39
⑬上野クリーニング店	10:10	10:40	11:10	11:40	12:10	13:40	14:10	14:40
⑭針ヶ谷2丁目住宅街	10:11	10:41	11:11	11:41	12:11	13:41	14:11	14:41
⑮かさい医院	10:11	10:41	11:11	11:41	12:11	13:41	14:11	14:41
⑯浦和針ヶ谷パークホームズ 多摩湖向かい	10:12	10:42	11:12	11:42	12:12	13:42	14:12	14:42
⑰ローソンさいたま浦和7丁目店	10:15	10:45	11:15	11:45	12:15	13:45	14:15	14:45
⑱あいばれっと向かい	10:18	10:48	11:18	11:48	12:18	13:48	14:18	14:48
⑲針ヶ谷3丁目住宅街	10:19	10:49	11:19	11:49	12:19	13:49	14:19	14:49
⑳スナック横	10:20	10:50	11:20	11:50	12:20	13:50	14:20	14:50
㉑針ヶ谷公民館	10:21	10:51	11:21	11:51	12:21	13:51	14:21	14:51

運行ルート



アンケート調査にご協力ください

よりよいサービスの実現に向けて、利用者の皆さまのご意見を募集しております。

乗車時にアンケートを配布させていただきますので、ご回答をお願いいたします。

ご協力のほど、よろしくお願いたします。

このチラシは14,500部作成し、1部当たりの印刷単価は45円です。(委託業務のうち、印刷に要した費用です。)

(4-2) 地域サポーターについて

「地域サポーター」とは？

- 運行期間中、後部座席に同乗し、車両の**運転以外の運行サービスを中心に、実験に協力していただく方**のことを言います
- 地域の皆様にグリスロに乗車いただき、車両について知っていただくこと、地域に導入する場合の効果や課題を地域目線で見つけていただくことを目的としているため、**各自治会からボランティアでご協力いただける方を配置していただきたいと思います**

具体的な役割

- a. 運行日誌の記録（実証実験の事務事項）
- b. 利用者アンケートの配布・回収（実証実験の事務事項）
- c. 運転手サポート（安全確認）
※原則はドライバーのため、駐車のための後退時などがメイン
- d. 利用者の乗降サポート（おもてなし事項）
- e. 車内外とのコミュニケーション（おもてなし事項）

【今回の実証実験で使用するグリスロ
（ヤマハ社製7人乗り）】



資料：ヤマハ発動機ホームページ

(4-2) 地域サポーターについて：1日の流れ（R7針ヶ谷エリアの場合）

- 針ヶ谷公民館へ15分前に集合します

午前担当の場合	9:45
午後担当の場合	13:15

- 運行中は、前述の以下の作業を実施します
 - 利用者アンケート配布・回収
 - 運転手のサポート
 - 利用者の乗降サポート
 - 車内外とのコミュニケーション
- 最終便へ乗車し、針ヶ谷公民館へ到着後、以下を実施
 - 運行日誌の記録
- 運行日誌やアンケート調査結果などは、車両に置いてお帰りください

▼ 東側（針ヶ谷エリア）運行ダイヤ

停留所	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便
①針ヶ谷公民館	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:30	14:00	14:30
②大原陸橋南	10:01	10:31	11:01	11:31	12:01	13:31	14:01	14:31
③理容ダンディ	10:02	10:32	11:02	11:32	12:02	13:32	14:02	14:32
④針ヶ谷保育園	10:03	10:33	11:03	11:33	12:03	13:33	14:03	14:33
⑤針ヶ谷1丁目公園向かい	10:03	10:33	11:03	11:33	12:03	13:33	14:03	14:33
⑥セブンイレブン針ヶ谷店	10:04	10:34	11:04	11:34	12:04	13:34	14:04	14:34
⑦ヒルトップ針ヶ谷	10:05	10:35	11:05	11:35	12:05	13:35	14:05	14:35
⑧さいたま市水道局	10:06	10:36	11:06	11:36	12:06	13:36	14:06	14:36
⑨双恵幼稚園	10:07	10:37	11:07	11:37	12:07	13:37	14:07	14:37
⑩針ヶ谷1丁目住宅街	10:08	10:38	11:08	11:38	12:08	13:38	14:08	14:38
⑪ベルメゾン浦和針ヶ谷向かい	10:08	10:38	11:08	11:38	12:08	13:38	14:08	14:38
⑫オークハウス第2	10:09	10:39	11:09	11:39	12:09	13:39	14:09	14:39
⑬上野クリーニング店	10:10	10:40	11:10	11:40	12:10	13:40	14:10	14:40
⑭針ヶ谷2丁目住宅街	10:11	10:41	11:11	11:41	12:11	13:41	14:11	14:41
⑮かさい医院	10:11	10:41	11:11	11:41	12:11	13:41	14:11	14:41
⑯浦和針ヶ谷パークホームズ 参番館向かい	10:12	10:42	11:12	11:42	12:12	13:42	14:12	14:42
⑰ローソンさいたま領家7丁目店	10:15	10:45	11:15	11:45	12:15	13:45	14:15	14:45
⑱あいばれっと向かい	10:18	10:48	11:18	11:48	12:18	13:48	14:18	14:48
⑲針ヶ谷3丁目住宅街	10:19	10:49	11:19	11:49	12:19	13:49	14:19	14:49
⑳スナック榎	10:20	10:50	11:20	11:50	12:20	13:50	14:20	14:50
①針ヶ谷公民館	10:21	10:51	11:21	11:51	12:21	13:51	14:21	14:51

(4-2) 地域サポーターの参加状況

- 地域サポーターとして参加していただいた方（行政職員除く）は、針ヶ谷地区（10月）は延べ33名、北浦和地区（11月）は延べ27名、西側エリア（12月）は延べ20名に上り、総勢57名の皆さんに地域サポーターへ参加いただいた。

10月 針ヶ谷地区

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	2名 1名	1名 1名	1名 1名	1名 1名	2名 1名	
12	13	14	15	16	17	18
		- 1名	1名 1名	2名 1名	- -	
19	20	21	22	23	24	25
	1名 -	1名 1名	- 1名	- 1名	1名 1名	
26	27	28	29	30	31	
	1名 -	1名 1名	1名 1名	1名 -	1名 1名	

延べ参加人数	33名
参加人数	27名

11月 北浦和地区

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
		1名 1名	- 1名	1名 1名	1名 1名	
9	10	11	12	13	14	15
	- -	- 1名	- -	1名 1名	1名 1名	
16	17	18	19	20	21	22
	1名 1名	- 1名	- -	1名 1名	1名 1名	
23	24	25	26	27	28	29
		1名 1名	1名 1名	1名 1名	1名 1名	
30						

延べ参加人数	27名
参加人数	24名

12月 西側エリア

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	1名 -	1名 1名	2名 1名	1名 1名	1名 1名	
7	8	9	10	11	12	13
	1名 -	- -	1名 1名	1名 -	- 1名	
14	15	16	17	18	19	20
	1名 -	1名 1名	- -	1名 1名	- -	
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

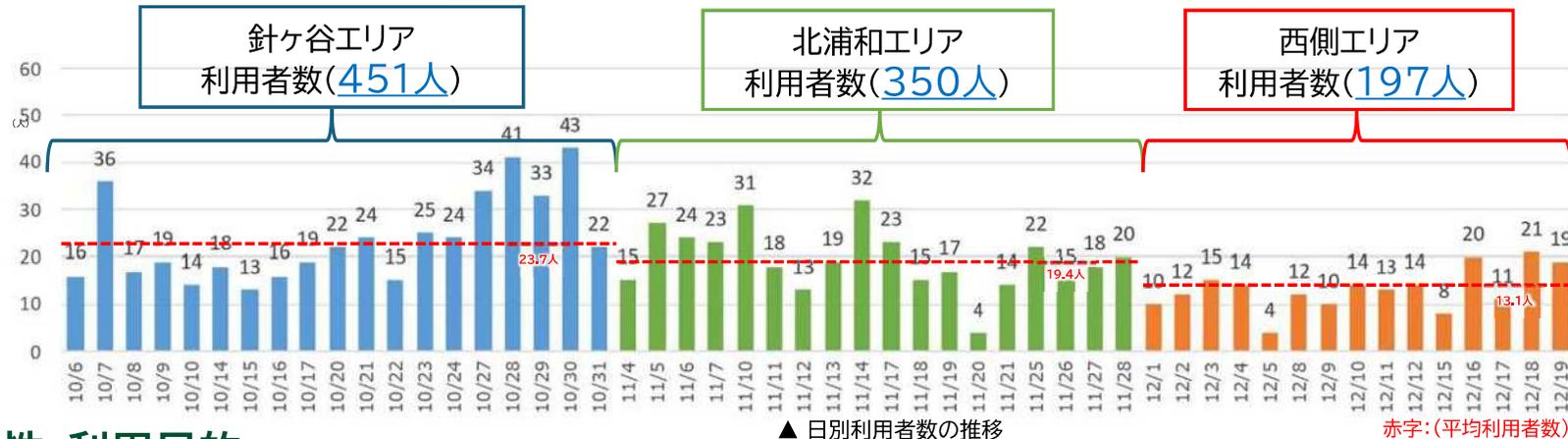
延べ参加人数	20名
参加人数	17名

参加人数	57名
------	-----

(5) 実験結果について

利用実績

- 令和7年度の運行利用者数は計52日間で**998人**であり、1日あたり**約19人/日**、1便あたり**約2.4人/便**であった



利用者属性・利用目的

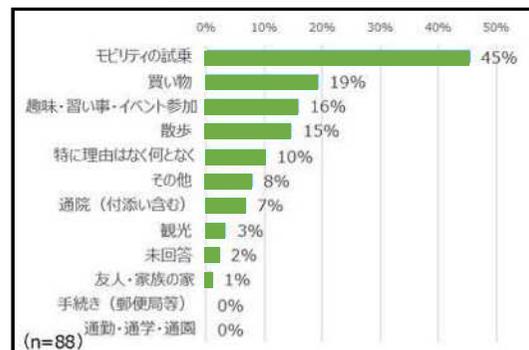
※アンケート回答者のみ

- 利用者属性は、全エリア通して、**70代以上が半数**を占めていた。しかし、**30~50代の利用も約1割弱**あり、高齢者以外の利用も見られた
- 利用目的は、全エリア通して、**半数以上がモビリティの試乗**であり、次いで**約2割の方が買い物**等日常生活の移動手段にも活用されている

(参考)
エリア別利用目的



▲ 利用目的(針ヶ谷エリア)



▲ 利用目的(北浦和エリア)



▲ 利用目的(西側エリア)

(5) 実験結果について | 北浦和地区 (停留所位置・サイン)

①北浦和公民館～⑭北浦和東公園へ、“停留所名称”、“運行期間”、“時刻表”、“利用上の注意・問合せ先”を記載した停留所サイン (A3サイズ・ラミネート加工) を設置。また、針ヶ谷地区での利用者意見等を踏まえ、“運行ルート・グリスロ写真”を追加。停留所サインは、設置許可や期間中の安全管理等を考慮し、フェンスや壁面など既存工作物へ添架する形で設置

運行期間 令和7年度グリーンスローモビリティ実証実験
 運行期間: 11月4日(火)～28日(金) (※土日祝は運休)

停留所名称
 **1 北浦和公民館**

時刻表	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
	10:00	10:30	11:00	11:30	12:10	13:30	14:00 14:30

利用上の注意・問合せ先

- ・運賃は無料です
- ・乗車定員は5名 先着順となっています
- ・荒天時は運休する場合がございます

問い合わせ先
 048-829-1056
 (受付時間 平日 9:00～17:00)
 さいたま市都市局交通政策部交通政策課

詳細はこちらから 

運行ルート・グリスロ写真 

▲ 停留所サイン (A3サイズ・ラミネート加工)



▲ 実際の停留所サインの設置状況 (⑤歯科 れいわ医院)



施設窓ガラス



▲ 実際の停留所サインの設置状況 (⑭北浦和2丁目住宅街)



施設外壁

(5) 実験結果について | グリスロ実証実験での運行風景 ～針ヶ谷地区 (10月)～



(5) 実験結果について | グリスロ実証実験での運行風景 ～北浦和地区 (11月)～



(6) 今後について (想定)

駅周辺における実証実験の実施 (令和7年度: 今回)

バス停周辺における実証実験の実施 (令和8年度)

『**地域主体での運営・運転および地域サポーターにて検証**』



～検討イメージ～

- 実証実験の結果を踏まえ、地域主体での実装に向けた課題の整理
- 持続的な実施に向けた地域主体での実施体制や募集方法の検討
- 地域特性や地理的条件なども踏まえた導入ルールの検討
- ボランティア輸送としての実現可能性の検討
- 既存事業との整合 (福祉車両による利用者制限のボランティア輸送)
- コスト評価 (車両調達費用・維持管理費用など)

政策の実施判断

※R8予算は未確定のため、あくまでも想定となります。